

最新ニュースをお届けします！



No.203

寒さにも雪にも負けず、みんな元気です♪

今年は雪が多く、栗山公園もすっかり雪に覆われてしまいました。よく動物たちは冬はどうしているの？と聞かれることがありますが、園内の小屋の中で元気に過ごしています。

休園中でも、シーズン中と変わらずにスタッフが掃除をして、しっかりご飯をあげています。ポニーのマロンとさくら、エゾシカのたいし、ヤギのモモとメメは、よく外にも出ています。

動物たちは春にまた元気に皆さんに会える日を楽しみに、しっかり運動して冬を乗り切ります！



【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706
指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】
★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



No.31

先達の希望が表現された「天恵」の像

今から30年前となる平成7年の4月に栗山町役場に新庁舎が完成、現在の景観となっています。11月には新築された庁舎内の1階ロビーに、当時栗山に在住した彫刻作家、米坂ヒデノリ氏のブロンズ像が置かれました。制作された作品の名は「天恵」。フィンランド産の花崗岩の台座の上に、農員を持って立つ高さ2・1mの男女の姿です。像のモチーフは、栗山に入植した先達の希望を、二宮尊徳が詠んだ「無尽蔵」の道歌（道徳・教訓的な短歌）「天津日の恵み積みおく／無尽蔵／鋤で掘り出せ／鎌で刈り取れ」からインスピレーションされ、鋤と鎌を持つ像に込めたとされています。栗山町の記録映像の中には、この時行われた



栗山町役場ロビーの「天恵」像

「天恵」像の完成披露で作者本人の説明する様子も残されていました。平成7年の年は、1月に阪神淡路大震災が発生し、3月には東京で地下鉄サリン事件などもありました。また新食糧法が施行され、米の生産・流通の自由化が推進されています。バブル崩壊後の国内社会が揺れる中でも、栗山ではフロンティアへの無尽蔵の「希望」が作品の形として残されました。

町史の隠れ家

町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中！



町史資料調査室
☎ 76-7820

除排雪へのご理解とご協力を！

本格的な雪のシーズンとなりました。冬期間の快適な生活環境の確保には、町民の皆さんと除排雪の作業員、町による連携が不可欠です。町では、冬期間の生活に支障がないよう、万全の体制で計画的な除排雪作業を進めています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

■除排雪 Q & A (よくある質問)



Q. せっかく家の前を
除雪したのに・・・
朝方に除雪車が雪
を置いていくのは
なぜですか？

A. 町では、限られた時間内に最も効率よく除雪を行うため、雪を左右の道路脇に寄せる「かき分け除雪」の方式を採用しています。置き雪が発生してしまうのは、そのためです。除雪車が通った後の玄関先などの雪の処理は、ご負担をお掛けしますがご協力をお願いします。

町民の皆さんへのお願い



【自宅敷地内の雪は出さないで】
雪を道路に出すと道路交通法に違反し、緊急車両の通行の妨げや交通事故などの原因になります。



駐車禁止

【路上駐車はやめましょう】
路上駐車や放置車両があると道路全体が除雪できません。予定までに作業が終わらない場合もあります。

移住Cコシモトの

栗山移住 こしょこしょ話♪



かまくらでオンライン移住セミナー中継

栗山町移住コーディネーター

文：腰本 江里沙

(通称：移住Cコシモト)

栗山町の移住情報は、ウェブサイト
で公開中です！→



第5話「冬もそんなに悪くない」

道外の移住フェアに行くと「栗山町はどのくらい雪が積まりますか？」と、必ず聞かれます。北海道に住む私としては、そんなに怖がることはないのになと思ってしまいますが、雪が降らない場所に住む人にとっては、それは未知の世界なのでしょう。私たちはあの手この手で栗山町の冬の様子をお伝えしますが、実際に降り積もった雪をスコップで飛ばしてみたり、冷たい風を顔面で受け止めてみたりするなど、体験に勝るものはないと思います。現に移住への本気度が高い人ほど、北海道の冬を体験したいとおっしゃいます。

また、冬の水道光熱費についても聞かれますが、家の形状や暖房設備によって違いがあることを知らない方も多く、私たちが思っている以上に雪国での暮らしはベールに包まれているのかもしれない。

冬は大変なことも多いですが、朝晩の澄んだ空気や、真っ白な雪景色の美しさに、私はこの歳になって心奪われるようになりました。そんな感情が抱けるのも雪国ならではのあり、雪のある生活を楽しんでいる移住者さんも多いです。

北海道移住を考えている人に、皆さんは栗山の冬をどのように伝えますか？